平成18年 鏡石町成人式を挙行

151人が参加した成人式

成人としての新しき旅立ちを祝う、平成18年鏡石町成人式が、１月８日(日)午前10時30分から町公民館において厳かに開催されました。

今年は、昭和60年４月２日から昭和61年４月１日までに生まれた男性90人、女性106人の合計196人が新成人として大人の仲間入りをしました。

式典には、華やかな振袖姿の女性や、真新しいスーツに身を包んだ男性151人が出席しました。

式典では、始めに出席者全員で「君が代」を斉唱したあと、木賊町長が「自分の限界を自分で定めることなく可能性を信じ、目的に向かって大いに邁進してください。」と、続いて、稲田耕徠教育委員会委員長が、「これからは、誇りを持って「日本人」として「鏡石人」として、地域社会や国際社会と関わっていただきたい。」と式辞を贈りました。

続いて、成人者を代表して遠藤明子さんに成人証書が授与され、井上寿弥さんと岩谷樹理さんが、成人としての誓いを宣誓しました。

その後、恩師代表として鏡石中学校時代の先生である天野典子さんが、「自分や周りの人を大切にして、毎日の生活に目標と夢を持ってください。」と励ましの言葉をおくりました。

最後に、参加者全員で町のシンボルソング「牧場の朝」を斉唱した後、成人者代表として正木諒さんが「成人としての自覚を持って、厳しい社会にくじけることなく立ち向かい、全ての行動に責任を持って最善を尽くしたいと思います。」と謝辞を述べ、式を閉じました。

式典終了後、新成人のみなさんは、久ぶりに再会した同級生と会場周辺で記念撮影を撮ったあと、実行委員会の主催で開催された同級会に出席し懐かしい思い出話に話を弾ませていました。

20歳を迎えてひとこと

伊藤 紗耶子さん

こうして成人の日を迎えることができ、大変うれしく思います。これからは、一人の大人として自覚と責任を持ち、より一層精進していきたいと思います。

両親をはじめ、今までお世話になった方々に感謝いたします。

遊佐 亜矢子さん

晴れて成人式を迎えられたのも、両親をはじめたくさんの方々の支えがあったからだと思います。この感謝の気持ちを、自らの夢を叶えるという行動で表し、自覚と責任を持てる立派な成人となることを誓いたいと思います。

正木　諒さん

家族をはじめ、多くの方々に支えられ無事成人の日を迎えることができました。心から感謝しています。

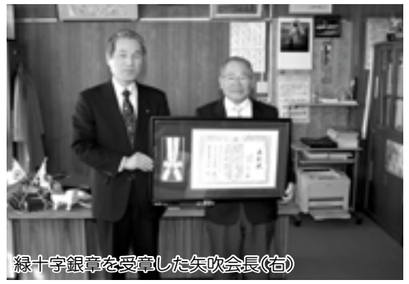
成人としての自覚を持ち、責任のある行動をしていきたいと思います。

和田 守央さん

無事に成人を迎えることができ、今まで家族をはじめ地域の方、お世話になった方々へ感謝を致します。これからは成人としての自覚を持って、責任ある行動と、前向きに挑戦的な精神で頑張って行きたいと思います。

成人としての誓いを宣誓する井上さんと岩谷さん

No.1 矢吹正一さん(南高久田) 交通安全功労で緑十字銀章受章


緑十字銀章を受章した矢吹会長(右)

多年にわたり交通安全のため献身的な尽力をしたとして、この程、町交通安全協会長の矢吹正一さん(南高久田)が、交通栄誉章緑十字銀章に輝きました。矢吹さんは、町交通安全協会長、須賀川地区交通安全協会副会長を歴任するなど40年に及ぶ交通安全の活動を行っています。

矢吹さんは、１月26日(木)町役場を訪れ、木賊町長に受章を報告。「今後も交通安全の取り組みに励んで生きたい。」と活動への意気込みを語っていました。

No.2 新春を祝い 年賀交歓会開催

約170人が参加した年賀交歓会

新春を祝う平成18年年賀交歓会が、１月４日(水)午後４時から鏡石舘で開催され、約170名が参加しました。

式では、木賊町長が今年1年の抱負を述べたあと、参加者を代表して菊地栄助町議会議長などがあいさつしました。最後に、参加者全員で町のシンボルソングである唱歌「牧場の朝」を合唱したあと、懇談し親睦を深め合いました。

No.3 昔ながらの遊びで 異世代交流

楽しくお手玉をする参加者

鏡石一小の新年集会が、１月19日(木)午前10時30分から同校で開催され、児童と老人クラブの会員約700が参加しました。

交流会は、昔からある遊びを通じて児童と高齢者に交流を図ってもらおうと毎年開催しているものです。子どもたちは、老人クラブの方々にコマ回しやお手玉の仕方を教わりながら楽しい時間を過ごしていました。

No.4 「かがみ」の名のつく ４町の児童交流

スキーを楽しむ参加者

町名に「かがみ」の名がつく町の児童が交流する「全国かがみ子どもサミット」が、１月６日(金)から８日(日)までの３日間開催されました。

今回参加したのは、熊本県の旧鏡町(現八代市)、岡山県鏡野町、高知県香我美町、本町の小学５・６年生46人。毎年持ち回りで、参加町村を訪れ交流をしています。

参加者は、猪苗代でスキー体験や会津若松市での観光を楽しむなど福島の冬を満喫していました。

No.5 出初め式で無火災祈願

駅前地区を行進する女性消防隊員

鏡石町消防団の出初め式が、１月４日(水)午前10時30分から鏡石一小体育館で、団員と女性消防隊員約100名が参加して開催されました。

式では、今年１年の無火災を祈願し黙とうを行ったあと、昨年１年以上の無火災分団への表彰や通常点検などが行われました。式終了後は、駅前地区を防火パレードし住民に火災予防を呼びかけました。

No.6 今年一年の無事故祈る

今年一年の無事故を祈願する参加者

町交通安全祈願祭が、１月８日(日)午前９時30分から、高久田地区の鹿島神社で開催されました。

町では、昨年103件の交通事故が発生し、死者２人、137人の負傷者が出ました。

当日は、町交通安全協会員など40人が出席。矢吹正一町交通安全協会長、木賊町長、菊地栄助町議会議長らが今年１年間の無事故を祈願し玉串を捧げました。